

全方位カメラとi-PRO miniカメラで死角の少ない監視に加え動体検知の活用で施設運用の効率化に貢献



ホンダモビリティランド株式会社様
モビリティリゾートもてぎ
Honda Collection Hall

導入時期：2024年3月
導入地域：栃木県

課題

ミュージアムのリニューアルに伴い監視カメラシステムを刷新し、防犯はもちろんサービス向上を目指したい

解決策

全方位AIカメラとi-PRO miniカメラで死角のない監視を実現。AI動体検知で施設の状況や課題も可視化

“新しい監視カメラシステムの活用でさらに安心してミュージアムをご利用いただけるよう、サービス向上も目指してまいります。”

ホンダモビリティランド株式会社
モビリティリゾートもてぎ
パーク運営課
Honda Collection Hall
種市 雄介 様

※所属は納入時のものです。

背景

ミュージアムのリニューアルに伴い監視カメラシステムを刷新

栃木県茂木町のモータースポーツのテーマパーク「モビリティリゾートもてぎ」内のミュージアム「Honda Collection Hall」は、世界中から多くのホンダファンが来場します。2023年、本田技研工業株式会社が創立75周年、同ミュージアムが25周年を迎えたことを機に、開館以降初めての大規模リニューアルが行われました。翌2024年3月より一般公開を開始し、“ホンダの夢と挑戦の物語”の体験をできる場として生まれ変わりました。リニューアルのコンセプトは「ストーリー展示」。1階から3階までのフロアではホンダ創業時から現代に至るまでの代表的な製品が展示され、併せて歴史背景を紹介しています。貴重な製品の展示はもちろん、来場者やスタッフの安心・安全を守るため、リニューアルに伴い館内の監視カメラシステムの刷新が行われました。

導入した理由

展示内容や運営の変化に対応する新監視カメラシステム

モビリティリゾートもてぎ パーク運営課の種市様は「開館以来25年間、監視カメラシステムは変わらない一方で展示内容や運営方法は変わり続けてきました。そのため監視カメラで撮影したいポイントが死角になっていることがありました。また、警備員が巡回するなど人手に頼っていた監視方法から省人・省力化が進んだことで、広い館内の監視が行き届きづらくなっていました。施設のリニューアルに伴い、足りない部分は監視カメラシステムの機能で補えるよう、広いエリアが撮影可能でAIも活用できる新しいカメラシステムを導入しました」と語ります。館内の防犯・監視用途としてはもちろん、AIカメラを活用した人数カウントや展示フロアでの来場者の動線と滞留の可視化、エリア侵入検知など、お客様へのサービス向上を目指しました。

ホンダの原点を伝えるミュージアム

Honda Collection Hallはホンダの原点を伝える施設として、1998年に本田技研工業株式会社様の創立50周年を記念に設立されたミュージアムです。ホンダモビリティランド株式会社が運営するモビリティリゾートもてぎ内に所在。二輪車や四輪車の展示を中心に、生活を支えるパワープロダクトやレーシングマシンなど、様々なコレクションを展示しています。

- 所在地：〒321-3533 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
- URL：<https://www.mr-motegi.jp/collection-hall/>



▲ Honda Collection Hall外観



AIネットワークカメラ 動体検知システム



▲ 全方位カメラと小型カメラで死角を抑えたフロア監視



▲ 照明レールに設置した小型AIカメラi-PRO mini



▲ ダッシュボードでリアルタイムの滞在者数や混雑度を閲覧可能

導入後の効果

全方位の撮影と柔軟な設置でフロア監視の死角を低減

1階から3階までの展示フロアでは主に屋内全方位AIカメラと屋内小型AIカメラi-PRO miniを採用しました。種市様は「各フロアの全方位を撮影しているので、展示を変更してもカメラの位置調整をする必要がなく、気兼ねなく展示のレイアウト変更が可能です。展示物の陰はどうしても死角になってしまいますが、無線LAN対応で設置が柔軟なi-PRO miniでカバーしています。また、i-PRO miniはコンパクトで威圧感がないので、近くにあってもお客様が展示を気兼ねなく楽しむことができると思います」と語ります。

人数カウントやヒートマップの活用で施設の状況を可視化

全方位AIカメラの動体検知アプリケーションを活用してエントランスでは入退場の人数カウントを行い、展示フロアでは来場者のヒートマップ表示を行っています。受付と監視ルームに設置したPCのダッシュボードでリアルタイムの滞在者数や混雑度、時間帯ごとの来場者推移を閲覧可能です。種市様は「過去の経験からもイベントの日などは、多くのお客様がいらっしゃる一方でスタッフの増員をするなど対応していましたが、夕方の時間帯に駆け込みでいらっしゃる方が多いなど、イベントがない日でも時間帯によって偏っていることがありました。今まではセンサーでの人数カウントをしていたため、どの時間が特に混んでいるなどの詳細が分かりませんでした。このシステムによって可視化をすることができました。まだ導入して半年ぐらいですのでデータは少ないですが、今後データを積み重ねることで効果的なスタッフ配置に活かせると期待しています。また、ダッシュボードでは通過人数と滞留時間を色で可視化したヒートマップを見ることができます。今後も定期的に展示内容改良していく予定ですが、お客様がどのように動いているのか、どの展示を長時間見ているのか簡単に把握することができるので、今後のサービスに役立てられると感じています」と語ります。



▲ エントランスの人数カウントの様子



▲ 通過人数と滞留時間を色で可視化したヒートマップ

お客様の声

未来への挑戦と夢の実現

Hondaは常にユニークな製品を発表し続け、多様なお客様に夢と新しい体験を提供しています。新しい監視カメラシステムの活用でさらに安心してご利用いただけるよう、サービス向上を目指します。今後もHonda Collection Hallを通じて、革新的な製品や技術を体験していただき、Hondaの夢と挑戦の物語をお客様に伝える場として、これからもその役割を果たしていきます。



ホンダモビリティランド株式会社
モビリティリゾートもてぎ
パーク運営課
Honda Collection Hall
種市 雄介 様

※所属は納入時のものです。

納入機器

- ・ 屋内全方位AIカメラ **WV-S4176UX** × 28台
- ・ 屋内小型AIカメラ i-PRO mini **WV-S7130WUX** (無線LANモデル) × 10台
- ・ 屋内ボックスAIカメラ **WV-S1136UX** × 3台
- ・ 屋外ハウジング一体AIカメラ **WV-S1536LUX** × 7台
- ・ 屋内ドームAIカメラ **WV-S2136LUX** × 3台
- ・ ネットワークディスクレコーダー **WJ-NX510K** × 1台
- ・ 映像監視ソフトウェア **WV-ASM300UX** × 1式
- ・ AIネットワークカメラ用機能拡張ソフトウェア (動体検知) **WV-XAE200WUX** × 1式
- ・ AI全方位ネットワークカメラ用機能拡張ソフトウェア (動体検知) **WV-XAE300WUX** × 1式
- ・ マルチAIソフトウェア **WV-ASA100WUX** × 1式
- ・ ASA100用カメラ拡張キット (4ch) **WV-ASAE104WUX** × 6式
- ・ ASA100用カメラ拡張キット (1ch) **WV-ASAE101WUX** × 3式

